

29.化学療法内科（選択）

1. 一般目標（GIO）

がんに対する化学療法の対象となる状態を把握する。
がん治療における化学療法の役割を認識する。

2. 具体的目標（SB0s）

- （1）がんの診断（理学的所見、画像検査所見、血清検査所見、病理組織所見）ができる。
- （2）がん患者の全身状態の客観的評価ができる。
- （3）がん患者の苦痛を評価し、対応ができる。
- （4）抗がん剤の種類、特徴、組み合わせ、対象疾患を理解する。
- （5）化学療法レジメンを理解し、治療計画が立案できる。
- （6）化学療法の副作用対策を理解する。
- （7）化学療法の効果判定を理解する。
- （8）末期がん患者の適切なケアにつき理解する。
- （9）他科の医師、薬剤師、看護師（病棟・外来）を中心としたチーム医療について理解し実践できる。

3. 方略

OJT (on the job training)

- （1）病棟業務
 - 1）入院患者（3～4名）の担当医となり診療に従事する。
 - 2）入院患者の問診、視診、触診、聴診を行いがん治療中の患者の状態のモニタリングを行う。
 - 3）院内の化学療法レジメンシステムに則り、指導医の指示の下抗がん剤投与量の決定、オーダーができる。
 - 4）がんの状態の把握、化学療法の効果判定ができる。
 - 5）骨髄抑制、消化器毒性などの支持療法を指導医の指示の下決定、オーダーができる。
 - 6）治癒が望めない患者のアドバンス・ケア・プランニング立案の際の協議に同席できる。
 - 7）期間中に施行される胸腔穿刺、腹腔穿刺には参加できる。
 - 8）月曜日から金曜日の回診に参加できる。

(2) 外来業務

- 1) 外来患者の抗がん剤（注射剤）投与を行う。
- 2) 火曜日、金曜日の新患外来患者の問診を行い、指導医の診療の際に同席する。
- 3) 外来化学療法室において、各診療科からオーダーされる複数のレジメンを受けている患者の経過と現状を把握し指導医に報告する。

4. 評価

- (1) 形成的評価：月曜から金曜に当日の振り返りを行い、フィードバックを行う。
- (2) 総括的評価：EPOC2にて行う。